

要旨

本研究ではごみ排出行動や3R行動と社会的ネットワークの関連を取り上げ、町内だけでなく町外のネットワークも重要であることを示した。札幌市の収集区分変更（雑がみや枝・葉・草の分別開始など）や有料化などのルール変更を題材に調査を行った。その結果、1)ネットワーク（つきあいの人数）が多いほど速やかに新ごみルールにそったごみ分別・排出行動ができるようになっていた。2)ルール変更とは直接関係しない3R行動もネットワークとの関連が見られ、とくに3R行動のうち地域を越えた行動については町外ネットワークとの関連が見られた。さらに、情報接触との関連も調べたところ、町内外のネットワークが多いほど情報接触をしているという関係も見られた。また、情報接触をしている人ほど適正な分別行動や3R行動をしていた。